

ひこざ便 No. 43

2020. 6月特定非営利活動法人無料塾ひこざ

「居場所」の新しい形を探して

久しぶりに小学生、中学生の通学姿が町中に見られるようになりました。感染が広がったこの3ヶ月は、どなたも大変な暮らしを余儀なくされたことでしょうか。私のところも、介護している夫が発熱した時は不安と恐怖にかられ保健所のつながらない電話にかじりつきましたが幸い風邪熱とわかり、葛根湯を処方されて落ちついた時は心底ほっと致しました。

ひこざは今、オンラインの学習支援に必要な タブレットなど端末の用意、WiFiで通信環境を調えるためにスタッフが協力してあたり、19日からひこざの中にタブレットを設置して塾生がオンラインで勉強できるようになりました。新しい学びのやり方に多くの塾生が慣れて世界が広がり、楽しくなれたらと思います。

感染拡大で子どもたちは今、ひとりばらばらにされて自分の将来はどうなってゆくのか、どうすれば良いのかと不安を抱えていると思います。ひこざは子どもたちの声を大切に聞きとり、疑問や不安を自由に話せるよう、安心できる居場所の形をつくってゆきたいと考えております。多くの方がたの御意見や御協力をお願いいたします。

代表理事 角田 眞喜子



書面評決での第4回定期総会無事終わる

今年度の第4回定期総会は新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言に対応する為、通常総会に代え書面評決による議案承認を行っていただきました。お陰様で正会員35名中、手紙による返信14名、メール等による返信11名 合計25名の返信を頂き総会成立及び全議案が承認されました。ありがとうございました。

中には非常事態宣言で生活が苦しくなる家庭の増加や学習格差を心配され、ますます「ひこざ」への期待と活動を応援する温かいお言葉を頂きました。

先の見通しが立たない中、ひこざの通信環境を整え、ひこざらすの学生さんが講師となり、オンラインで学習支援を行う取り組みもはじめました。更に対象者をふやす取り組みも展開しようとしています。

今後とも会員の皆様の温かいご支援をよろしく申し上げます。

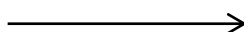
無料塾「ひこざ」：〒338-0825 さいたま市桜区下大久保816（埼玉大学前）

Tel 080-4717-1535（火・金の16:00～20:00のみ）

Mail hikoza0203@gmail.com

HP 無料塾ひこざ.jp

Facebook QR



ひこざらいん

“ひこざらす。” 熊澤七海

オンラインではzoomを使ってゲームをしたり、自粛休み中に出た宿題を教えたりしました！

ゲームはzoomのホワイトボード機能を使った絵しりとりやWikipediaを使ったゲームなど、オンラインならではのことができることができ、新鮮でした。こどもたちは基本的に顔出しはしていませんが、久々に子どもたちの笑い声が聞こえて、私たちも嬉しかったです。宿題も、新しい学年の単元にも関わらずよく取り組んでいる様子が見れてよかったです。オンラインで教えることはなかなか難しく、子どもたちが取り組んでいる問題を声に出して読んで教えてもらったり、写真を送ってもらったりして共有するなど、様々な工夫が必要でした。これからは今までのような個人授業などももっとできるように考えていきたいと思っています。

たくさん子どもたちとお話したいので、無料塾ひこざでネット環境も整いますので、気が向いたらぜひ、オンラインのひこざをのぞいてみてください！



こんにちは！この度「ひこざらいん」担当になりました曾雌です。私は、大学一年からひこざらす。に入ってから三年目が経ちました。いまでも、様々な子供たちと触れ合いとても楽しく過ごさせていただいています。ひこざらいんをより良い情報を発信していけるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

曾雌 匠

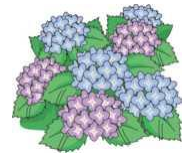
「ひこざ」支援ネット

こんにちは！ひこざらす。会長の武田です。

私は埼玉大学の教養学部で哲学を専攻しています。哲学というと、なんだか小難しくそうなイメージがあると思います。実際、わたしも哲学書なんて読んでって面白くなくて、ぽいっと放り投げてしまいそうになることもあります。 「私は本当に存在しているのか」とか、「私が安倍首相になることはありえるのか」なんてことを真面目な顔してみんなで考える授業がわたしは嫌いではありません。たまには「わかりにくいもの」についてじっくり考えてみるのも悪くはないのかも、と思います。

さて、学校が始まりいつもの日々が少しだけ帰ってきている頃でしょうか。お家にこもっていると少し窮屈で、外を自由に出歩いていた日々は、当たり前ではなかったんだなあと思わされます。ひこざもオンラインでの開塾ではありますが、少しずつ賑やかさが戻ってきているようで嬉しいです。梅雨入りしてからじめじめ暑い日が続いていますが、自由に外に出れる日を楽しみに、負けずに乗り切りましょう～！

武田温子



今年度から事務局のまとめ役として雛元さんからバトンをいただきました。ひこざとの関りは永いもののほとんど後方支援でおりましたが、しばらく務めていた仕事も退職したし何かお役に立てることがあればとお引き受けしたものの、今回の新型コロナウイルス影響下で何をどうしたらよいのやら戸惑ばかり。そんな中でもひこざスタッフの皆様はさすがに頼りがいがあり総会資料や助成金のことなど粛々とこなしてくださいました。これからもスタッフの皆さんやひこざらす。塾生の子もたちと一緒にひこざをつくっていきたいとおもいます。どうぞよろしくお願いいたします。

森本 智子

新しい事務局まとめ役の紹介

今年度から森本智子さんが「ひこぎ」事務局のまとめ役を担っていきます。30歳代、40歳代の現役世代の方2人が事務局に参加して下さることになりました。

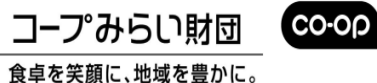
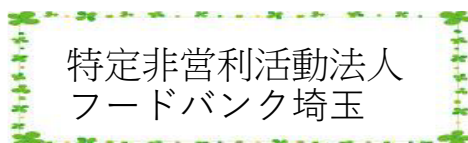
森本さんは「ひこぎ」発起人の一人で、この5年間スタッフとして一緒に活動してきました。他団体での活動経験も豊富なのに加えて、60歳代前半の若さです。30・40歳代の現役世代スタッフは、我々シルバーと「ひこぎらす」学生メンバーの世代ギャップを埋めてくれる貴重でありがたい存在です。昨年度まで事務作業をしてきた雛元ですが、眼が悪くなり夜の車運転が不安で活動継続が難しくなりました。森本さんや若い方々がバトンを受けてくださって安堵の気持ちでいっぱいです。

新型コロナ禍による外出自粛、3密回避で「ひこぎ」従来の活動ができなくなりましたが、現役世代スタッフや学生メンバーのネット活用能力のおかげで、オンラインで塾生とつながりを持ち続ける体制ができました。現在、Wi-Fiやタブレットの整備など、ネット環境の充実も積極的に進めています。これまでになかった取組です。

事務局の若返りと世代の多様化によって、学習支援事業の内容拡充・安定提供、地域や支援団体の方々との交流強化などが可能になりました。「ひこぎ」はパワーアップして活動を続けていきます。

これまで5年間の多大なご厚情に心から感謝いたします。これからも末永く「ひこぎ」へのご支援・ご指導をお願いいたします。

雛元 聖子（元・事務局まとめ役）



ご支援ありがとうございます。

●ひこぎオンライン交流に伴う開塾状況

毎週金曜日 18時～19時 Zoom を利用しひこぎらす。メンバー有志でオンライン交流を行っています。利用は自宅オンライン交流ができない塾生に限ります。おやつはありません。学生ボランティアは不在でひこぎスタッフが対応しています。感染対策・手洗い マスク着用 指先消毒 備品消毒 換気 3密にならないように参加人数を調整しています。

* 緊急支援助成金では、wi-Fi設備や消毒備品などに活用させていただきました。「ありがとうございます！」